

## 授業の具体的展開例

〈話し合いによる集団解決〉

T：相手に分かりやすく説明するためには、どんなことに注意すればよいでしょうか。

C：相手もっている知識や情報の量を考える。

T：どうすれば興味関心を持ってくれる？

C：写真や実物を見せたり、動きで表したりする。

T：どうすれば分かりやすい？

C：分かりにくい言葉には説明を加えたり、目で見て分かるように工夫したりする。

T：どんな反応（質問）があると思う？

C：いつどこでできたのかを聞きたいと思う。

T：「物」ではなくて、「出来事」や「考え」を伝える場合を考えてみよう。

C：相手がどんなことに興味をもっているかを考え、声色や話し方に注意して伝えていくことが必要だ。

## 教材・教具

- ・ ノート・・・シナリオを書く。
- ・ 提示資料・・・パソコンで調べてプリントアウトしたもの1枚＋説明に必要なフリップなど。
- ・ 自己評価用紙・・・毎時間使用。この時間にどんな力を身に付けたかを書く。

CLICK

自己評価用紙はこちら

## 板書例

- ・ 資料の提示方法
- ・ 声色（声の表情）
- ・ 話す速さや声の大きさ
- ・ 話の順序
- ・ 聞いてわかる言葉
- ・ 相手を考えた情報選択

わかりやすく話すために

相手を意識して伝えよう

## 「活用」の力を育てる評価の工夫

本時は小学校4年生を対象とした発表のために、図書室やインターネットで調べた資料を解釈し、活用するために構成を考える段階である。

「活用」の力を育てるために、小グループ（2人）で活動させることで、主体的に取り組み、他者の視点を取り入れながら計画が立てられるようにし、それを支援しながら評価を適宜フィードバックしていく必要がある。

常に、生徒自身が自分の学びの道筋を振り返り、今後の学習の見通しを立てられるように、一人一人の生徒の様子を観察し、支援していくことが大切である。

## 「活用」の力を育てる評価の視点

生徒がこれまでに調べて集めた資料の中から、必要な情報を選び、発表を組み立てていく中で、「活用」の力を育てる評価として、以下の視点に留意することが大切である。

- ①「何」を「どのように」説明するかという見通しをもっているか。また、その見通しに従って、作業を進めているか。
- ②様々な情報の中から、適切なものを選択・理解し、目的に応じて活用できているか。
- ③相手を意識して構成を考えたり、使う言葉を選んだりしているか。
- ④他者の視点を取り入れ、自分の考えを広げているか。
- ⑤自分の学びの過程を振り返り、これからの学習の見通しを立てているか。

これらの視点について、机間指導をしたり、作業を一時中断して、全体への確認を行ったりする中で、生徒の学習を支援し、評価を指導に生かしていく。

シナリオ例はこちら

## 生徒のシナリオ例

CLICK

- 1 挨拶・自己紹介
- 2 問いかけ「これはなんでしょう」（写真）
- 3 いつできたのか説明（書いた資料1）
- 4 どのようにして作ったのか説明（書いた資料2）
- 5 使用方法クイズ（書いた資料3 3択）
- 6 使用方法の説明
- 7 まとめ・挨拶

HOME

本時の流れへ

評価問題